



十小だより

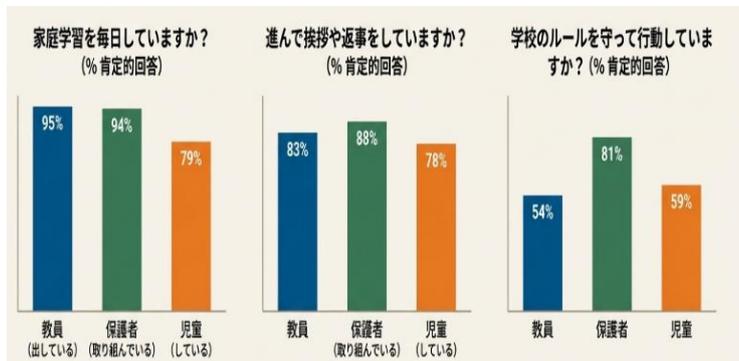
令和8年2月27日
第11号
府中市立府中第十小学校

1年間を振り返って～学校評価より抜粋～

校長 草刈 あずさ

子どもたちが心身ともに大きく成長した1年間でした。年度末になりますので、学校評価の中から、児童や保護者、教員の三者から見た子どもたちの様子と今後の対応について以下、お伝えします。

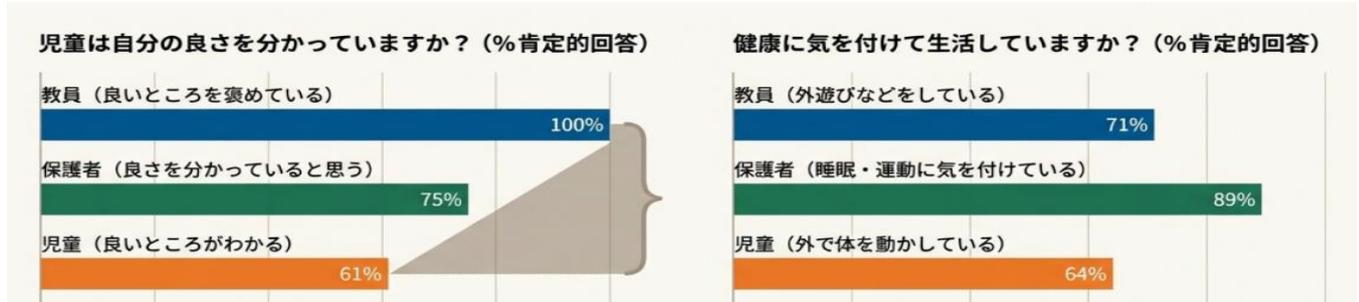
1 家庭学習、挨拶、ルール



「十小の子どもたちは、よくあいさつしてくれる」というお声もいただいています。継続して、よさを伸ばしていきたいと思います。

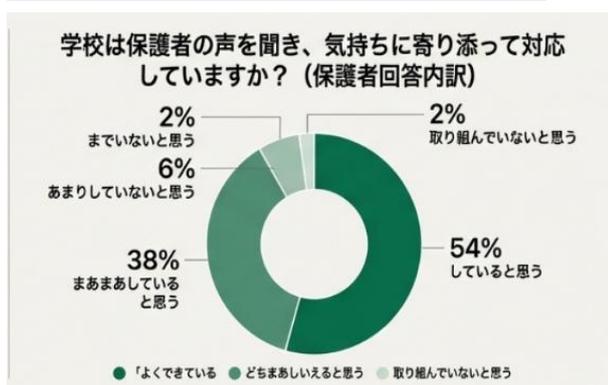
学校のルールは、廊下の歩行など、教員から見て改善すべき点がありますので、今後も指導していきます。

2 自己肯定感と健康への意識



約40%の子どもが「自分の良いところがわかる」に否定的な回答をしています。教員は良いところを褒めるように心がけていますが、全員が十分に認められているとは言い難い状況があることがわかります。子ども自身が、苦手なことよりも、好きなことや得意なことに目を向けられるような声かけを心がけていきます。

3 保護者との信頼関係



約10%の保護者の方が、「学校は保護者の気持ちに寄り添った対応をしている」に否定的な回答をしています。教員の肯定的な回答100%との意識の差がありますので、お子さんの気持ちや保護者の気持ちを大切にしたい関係づくりに、今後、一層努めていきます。